

報 告

第36回日本義肢装具学会学術大会の報告

松田 靖史^{1) 2)}

1) 川村義肢株式会社 開発部 K-Tech

2) 大阪大学大学院 BE 専攻

1. ハイブリッド開催の概要

第36回日本義肢装具学会学術大会は、東京大学（本郷キャンパス）伊藤国際学術研究センターにて、WEB開催2020年10月23日（金）～11月16日（月）、対面開催2020年10月31日（土）～11月1日（日）の日程で開催されました。大会テーマである「先人に学ぶ、達人に学ぶ、科学に学ぶ」の通り、実りある学術大会でした。

2020年春からのコロナ禍により、当初は東京大学吉田講堂での開催予定が、会場を伊藤国際学術研究センターへ変更となり、収容人数規制の対面開催とともにオンライン発表によるハイブリッド開催となりました。

2020年の各学会開催はコロナ禍に振り回され中止や延期もあって、本学会開催にこぎつけた実行委員会や事務局の皆さんの大変さを思いやられます。



図1 伊藤国際学術研究センター地下学会会場

1) 川村義肢株式会社 事業開発本部 開発部

E-mail: matsuda@kawamura-gishi.co.jp

2) 大阪大学大学院工学研究科

ビジネスエンジニアリング専攻

2. 学術大会の内容

今回は特に学生発表セッションが充実しており、義肢装具や福祉機器に限らない多くの分野から演題とポスター発表があり興味の高さが伺えました。

特別講演には「我が国における義肢装具の歩み」澤村誠志氏（兵庫県立総合リハビリテーションセンター）、「ユニークで普遍的な医学であるリハビリテーション医学」才藤栄一氏（藤田医科大学 医学部）「パラリンピアンの脳 -義足アスリートの脳再編-」中澤公孝氏（東京大学大学院 総合文化研究科）。

また日本生活支援工学会・日本リハビリテーション工学協会・ライフサポート学会 連携企画のシンポジウム 2「義肢装具と支援機器 -似ているようで…」など親しみやすいプログラムも多くありました。リハ工協会の皆さんもご参加されてはいかがでしょうか。

3. 飯田賞表彰

義肢装具学会では義肢装具にまつわる貢献者（義肢・装具・リハビリテーション工学の分野で優れた業績をあげた方）を称えて“飯田賞（本賞／奨励賞）”を授与する表彰があります。これには“実務的業績及び臨床活動業績、学問的業績、社会活動貢献、教育活動業績”等の評価項目があり、2020年度の奨励賞は神奈川県総合リハビリテーションセンターの沖川悦三氏が受賞されました。

4. 終わりに

第37回日本義肢装具学会学術大会はテーマを「モノづくりとリハビリテーションのマッチング」として、2021年ライブ開催10/16（土）～10/17（日）、オンライン開催10/8（金）～11/25（月）の予定で準備を進めています。たくさんの皆様のご参加をお待ちしています。